

株主通信

第87期

(2012年4月1日~2013年3月31日)



蛇の目ミシン工業株式会社

証券コード：6445

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第87期(2012年4月1日から2013年3月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

当期における世界経済は、米国やアジア地域において消費や設備投資が拡大するなど明るい兆しもみられましたが、欧州債務危機や米国財政問題で市場不安が広がるなか、景気下支え要因も乏しく減速基調で推移いたしました。

わが国経済におきましては、昨年12月以降、政権交代に伴う景気回復への期待感を背景とする円安・株高傾向が、輸出産業を中心に企業業績を後押ししたものの、雇用情勢は依然として厳しい状況が続くなど、消費意欲の底上げには至りませんでした。

このような中、当社グループにおきましては、新機種の投入や徹底した製造コストの削減による価格競争力の強化を図り、新規市場開拓と共に積極的な営業活動を行いました。

この結果、**当期の総売上高は38,652百万円(前期比1,611百万円増)、営業利益は1,727百万円(前期比626百万円減)**となり、事業再編損を営業外費用として計上したことなどにより、**経常利益は455百万円(前期比1,646百万円減)、当期純利益は88百万円(前期比119百万円減)**となりました。

なお、当期の配当金につきましては、利益配分のための内部留保の蓄積ができておらず、株主のみなさまには誠に申し訳ございませんが、無配とさせていただきます。

当社グループといたしましては、収益力の高いグローバル企業を目指し、全社一丸となって努力してまいりますので、株主のみなさまにおかれましては変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 **真壁八郎**

目次

- P. 1 株主のみなさまへ
- P. 2 連結決算ハイライト
- P. 3 セグメント別概要
- P. 5 連結財務諸表(要旨)
- P. 7 Q&A
- P. 9 トピックス
- P. 13 ジャノメソーイング教室
- P. 14 会社概要 他

●売上高 (単位: 百万円)



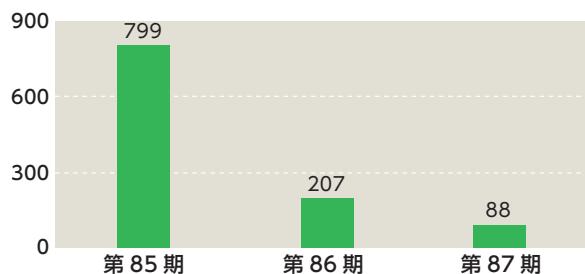
●営業利益 (単位: 百万円)



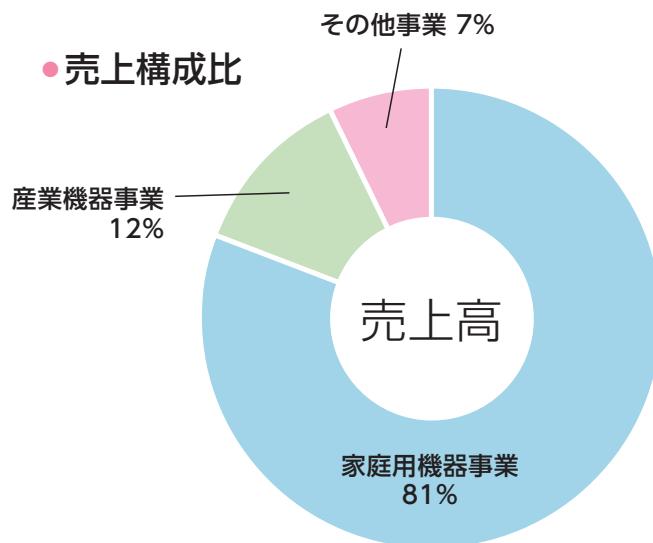
●経常利益 (単位: 百万円)



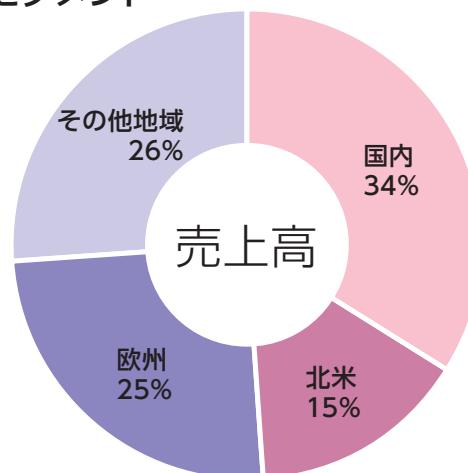
●当期純利益 (単位: 百万円)



●売上構成比



●地域別セグメント



※詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

ホームページ <http://www.janome.co.jp>

家庭用機器事業

海外ミシン市場におきましては、先進国市場の販売子会社、代理店向けにJANOMEブランドの高級機種MemoryCraft9900等をはじめ、ElnaブランドではeXcellence760及びeXcellence730の発売を開始し、家庭用ミシンを本格的に楽しむユーザー向けの需要喚起に努めました。また、ロシアやインドなどの新興国市場でも引き続き積極的な販売促進策を実施した結果、海外ミシンの販売台数は188万台(前期比20万台増)となりました。また、**海外売上高**につきましては、第4四半期から急激な円安に推移したこともあり**23,741百万円(前期比2,140百万円増)**となりました。



DC6030 (グッドデザイン賞受賞)

国内ミシン市場におきましては、それぞれの販売チャンネルにあった商品を投入するとともに、キルトショーなどの各種イベントに積極的に参加し市場の活性化を図りましたが、大幅な市場価格の低下や主力の代理店販売が振るわなかったことから、販売台数は19万台(前期比3万台減)、**国内売上高は6,219百万円(前期比382百万円減)**となりました。

24時間風呂・整水器販売につきましては、買い換え需要を掘り起こして積極的に客先を訪問するなど営業活動に注力いたしましたが、**売上高は1,379百万円(前期比38百万円減)**となりました。

以上の結果、**家庭用機器事業の売上高は31,341百万円(前期比1,720百万円増)、営業利益は1,216百万円(前期比600百万円減)**となりました。

事業概要

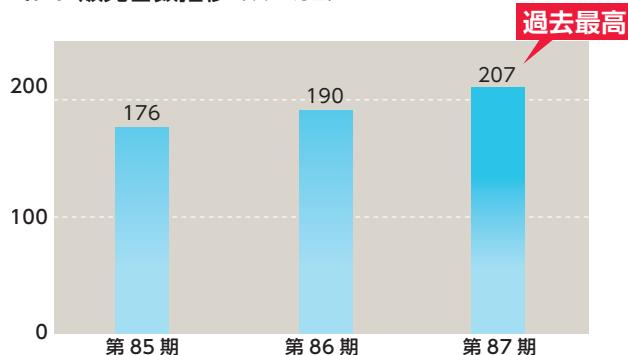
ミシン・24時間風呂等の家庭用機器の製造・販売

売上高・営業利益

(単位:百万円)



ミシン販売台数推移 (単位:万台)



産業機器事業

産業機器事業におきましては、国内市場ならびに中国や東南アジアの新興国に重点をおき、携帯電話等の情報端末機器や自動車部品などの製造関連企業を中心に積極的な販売活動を展開いたしました。また、卓上ロボットの塗布・ねじ締め・基板分割などの各仕様ならびにエレクトロプレスの仕様をユーザーごとにカスタマイズするなど、顧客の様々な要求にきめ細かな対応をとってまいりました。

ダイカスト鋳造関連事業につきましては、東日本大震災後の一時的な国内生産活動低下の影響も徐々に軽減し、自動車関連企業からの受注増等もあり順調に推移いたしました。

以上の結果、**産業機器事業の売上高は4,744百万円(前期比182百万円増)、営業利益は498百万円(前期比45百万円減)**となりました。

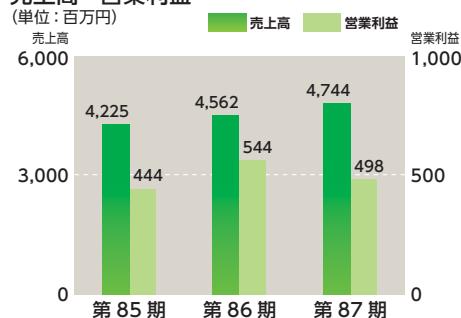


卓上ロボット JR-V2303

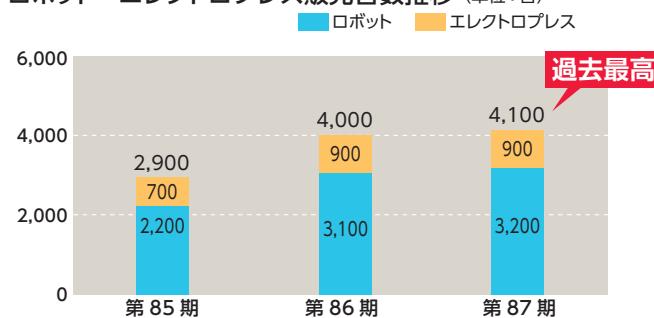
事業概要

卓上ロボット・エレクトロプレス・ダイカスト鋳造品等の産業機器の製造・販売

売上高・営業利益



ロボット・エレクトロプレス販売台数推移 (単位:台)



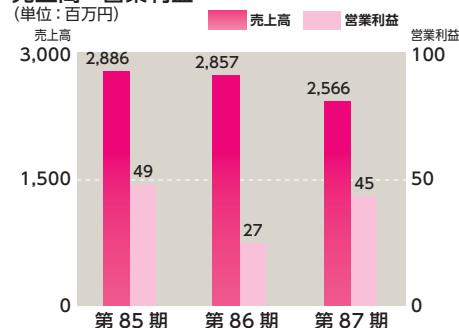
その他事業

ITソフトウェア・情報処理サービス、24時間風呂の据付・メンテナンスサービスなどに、不動産賃貸収入を加えた**その他事業の売上高は2,566百万円(前期比291百万円減)、営業利益は45百万円(前期比17百万円増)**となりました。

事業概要

ITソフトウェア・情報処理サービス、24時間風呂の据付・メンテナンスサービス、不動産賃貸 他

売上高・営業利益



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

区 分	当 期	前 期
	2013年3月31日	2012年3月31日
資産の部		
流動資産	20,170	20,603
固定資産	30,012	29,099
①▶ 資産合計	50,183	49,703
負債の部		
流動負債	15,987	17,830
固定負債	17,822	16,982
②▶ 負債合計	33,810	34,812
純資産の部		
株主資本	10,024	9,936
その他の包括利益累計額	5,810	4,446
少数株主持分	537	507
③▶ 純資産合計	16,373	14,891
負債純資産合計	50,183	49,703

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

区 分	当 期	前 期
	2012年4月 1日から 2013年3月31日まで	2011年4月 1日から 2012年3月31日まで
売上高	38,652	37,040
売上原価	23,436	21,444
売上総利益	15,215	15,596
販売費及び一般管理費	13,487	13,242
営業利益	1,727	2,354
営業外収益	194	255
営業外費用	1,466	508
経常利益	455	2,101
特別利益	3	34
特別損失	24	1,085
税金等調整前当期純利益	434	1,050
法人税等	384	817
少数株主利益	△38	26
当期純利益	88	207

POINT

①資産の部

流動資産は現金及び預金等の減少により、前期に比べ432百万円減少いたしました。

固定資産は機械装置及び運搬具、建設仮勘定の増加等により前期に比べ912百万円増加いたしました。

②負債の部

流動負債は支払手形及び買掛金、1年内返済予定の長期借入金の減少等により、前期に比べ1,842百万円減少いたしました。

固定負債は長期借入金の増加等により、前期に比べ840百万円増加いたしました。

③純資産の部

円安による為替換算調整勘定の増加等により、純資産合計では前期に比べ1,481百万円の増加となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位：百万円)

区分	当期
	2012年4月1日から 2013年3月31日まで
①▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー	636
②▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,319
③▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△627
現金及び現金同等物の当期末残高	4,785

POINT

①営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益の計上、売上債権の減少等により636百万円の資金の増加となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

製造子会社の機械設備や新機種に係る金型等の有形固定資産取得による支出750百万円、ソフトウェア等の無形固定資産取得による支出387百万円などにより、1,319百万円の資金の減少となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済等により、627百万円の資金の減少となりました。

連結株主資本等変動計算書 (2012年4月1日から2013年3月31日まで) (単位：百万円)

	株主資本					その他の 包括利益累計額	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	11,372	823	△1,934	△325	9,936	4,446	507	14,891
連結会計年度中の変動額								
当期純利益			88		88			88
自己株式の取得				△0	△0			△0
自己株式の処分			△0	0	0			0
株式資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)						1,364	29	1,393
連結会計年度中の変動額合計	—	—	88	0	88	1,364	29	1,481
当期末残高	11,372	823	△1,846	△324	10,024	5,810	537	16,373

新中期経営計画『JANOME EVOLUTION2015』について

Q 1. 新中期経営計画を策定した背景は？

前中期経営計画『JANOME EVOLUTION2012(2010年～2012年度)』は、サブプライム問題、リーマンショックを契機とする世界不況の影響が残る中、激化するグローバル競争を勝ち抜くべく2010年11月に策定し、諸施策を実施してまいりました。

その結果、相応の成果を上げましたが、急激な円高の進行や東日本大震災の影響等により、当初計画していた数値目標については遺憾ながら達成することができませんでした。

これを踏まえ、創立100周年(2021年)に向けてジャノメグループのあるべき姿を想定し、新中期経営計画を策定いたしました。

ジャノメグループのあるべき姿

- ①家庭用ミシンのトップ企業
- ②家庭用ミシンと産業機器の事業の二本柱
- ③良好な財務体質と継続的な配当体制

Q 2. 基本方針や基本戦略は？

グローバルマネジメントの展開と原価削減により、低コスト体質の高収益企業を目指します。基本戦略として、以下の4点を中心に事業を展開してまいります。

- ①成長が期待できる事業・市場へ経営資源を重点注力
- ②製造コスト、販売・管理コストの削減による収益基盤の再強化
- ③価格競争の更なる激化を見据え、将来に向けた生産体制の再構築
- ④顧客ニーズへの対応を含めた開発のスピードアップ

Q 3. 各セグメントの主な施策は？

家庭用ミシン事業の海外市場については、家庭用ミシンのトップ企業(世界シェア30%確保)に向けて、北米・欧州にマーケティング委員会を立ち上げ、市場ニーズに基づく魅力的な製品の投入と各国での販売活動を支援し、シェアの拡大を図ります。

国内市場については、家庭用ミシンシェアNo. 1の奪回を目指し、営業体制の見直し・整備を行います。また、販売体制についても販売チャネルの変化に対応した体制を整え、市場ニーズに合わせた魅力的な製品をタイムリーに投入してまいります。

産業機器事業については、当社事業の「第2の柱」としての確立を目指し、新興国市場ならびに成長業種への取り組み強化、卓上ロボット・エレクトロプレス販売強化を重点的に実施いたします。

Q 4. その他部門の取組みは？

生産部門については、第87期(当期)比で原価削減11億円の達成を目指します。

また、海外ミシン生産に関する統括機能をジャノメ台湾に置き、ジャノメタイランドはジャノメ台湾の傘下に位置付けて効率的な生産を追及いたします。

これにより、3年後の第90期(2016年3月期)にはジャノメタイランドで家庭用ミシン150万台を生産できる体制を構築してまいります。

開発部門については、製品開発力の強化とスピードアップを図り、市場ニーズにあった製品の開発を行うことにより、製品ラインナップを充実させてまいります。

また、開発設計と量産設計の充実化等により開発をスピードアップすると共に、3DCAD・3Dプリンターの活用により、設計品質の向上及びコスト削減を目指します。

事務・管理部門については、販売管理システム構築にあわせ、業務簡素化・共通化、重複業務の排除を図ると共に、ITの活用による経営情報の迅速な提供、管理コスト削減への取組みを強化いたします。また、人材育成システム確立に向けて取組んでまいります。

Q 5. 今後の業績見通しは？

第90期までの業績推移については、次のとおり計画しております。



◎ブラジルにミシン販売会社を設立いたしました (2013年4月1日 ブラジル・サンパウロ)

ブラジル・サンパウロ市にミシン販売会社を設立いたしました。

当社はこれまでブラジル市場において現地代理店を通じて家庭用ミシンを販売してまいりましたが、今後も成長が期待できる市場であることから、このたび現地に販売子会社を設立し、一層の営業活動強化により販売拡大を図ってまいります。

商号：ジャンメブラジル有限会社

(JANOME DO BRASIL COMERCIO DE MAQUINAS LTDA.)

◎キルトギャラリー研修会を開催いたしました (2013年5月16日)

著名なキルターの団体に所属されているキルト作家の方々を対象に、「第3回 JANOMEキルトギャラリー研修会」を開催いたしました。

この研修会は作品作りにつながるテーマで見聞を広めていただくとともに交流を深めることを目的として、当社が企画・主催し、今回で3回目の開催となりました。



今回は、「色彩学／色彩心理学の基本」というテーマで、専門の講師をお迎えし、多くのキルターの方々に参加していただきました。

研修では、配色カテゴリーの紹介などがあり、キルターの方々は創作活動に役立つ内容に、熱心に聞き入っておられました。

◎ソーイング文化の普及を目指して世界各地でミシンワークショップ開催

ソーイングの楽しさと当社製品の使いやすさを紹介するため、世界各地でミシンワークショップを開催いたしました。

また、各国の当社代理店によるワークショップの開催支援も積極的に行っています。

上海（中国）

キルトバッグとタペストリー製作



ジャカルタ（インドネシア）

キルトバッグ作りやアタッチメントを活用したアクセサリー作り



クアラルンプール（マレーシア）

マレーシアで新発売される当社製品を使いキルトバッグを製作



モスクワ（ロシア）

当社代理店によるパッチワーク・ミシンキルトのワークショップ開催

各種展示会に出展いたしました



「東京国際キルトフェスティバルー布と針と糸の祭典2013ー」 2013年1月24日(木)～30日(水) 東京ドーム

本展示会は世界最大級のキルトショーで、開催期間中、約23万2千人の方が来場されました。

当社ブースでは、たくさんのお客様に最新刺しゅう機能付きコンピュータミシンの機能とともに、ものづくりの楽しさを体験していただきました。

「MOTEK2012」

2012年10月8日(月)～11日(木) シュツットガルト(ドイツ)

世界20ヵ国900社以上の生産設備メーカーが、組立などの自動化システム関連商品を出展するヨーロッパ最大の展示会です。当社グループのジャノメ インダストリアル エクイップメントヨーロッパ社が初めて出展しました。卓上ロボットのねじ締めや基板分割をはじめ、エレクトロプレスやスカラロボットなど当社製品の実演を行い、多くの来場者の関心を集めました。



「中国国際工業博覧会」

2012年11月6日(火)～10日(土) 上海(中国)

本博覧会は、中国政府公認の機械要素分野のトップイベントであり、参加企業1,800社以上、来場者10万人を超える中国国内では最大級の工業見本市です。

当社グループのジャノメ インダストリアル エクイップメント上海社が初出展し、連日多くの来場者が訪れました。

◆ 新製品

● 刺しゅう機能付コンピュータミシン セシオ9700(2013年2月1日発売)



- ・針板交換が簡単な「ワンタッチ式針板」
- ・ダイナミックな模様縫いが楽しめる「9mm幅ステッチ」
- ・針元が拡大されて見やすくなる「面板レンズ」など最新の機能を備えています。

刺しゅう模様は本体に176種類が内蔵されているほか、付属USBメモリには200種類が入っており、多彩な刺しゅうを楽しむことができます。

また刺しゅうユニットを取り外した状態での質量は、10.4kgと軽く、持ちやすくなっています。(刺しゅうユニット装着時 13.8 kg)

取扱店：国内直営支店

お問い合わせ：お客様相談室(フリーダイヤル0120-026-557)

● 直交ロボット JC-2シリーズ(2013年5月1日発売)

好評発売中の多機能型卓上ロボット「JR2000Nシリーズ」の高機能と使いやすさを継承した直交ロボット※「JC-2シリーズ」を発売いたしました。

生産バリエーションの多様化により、生産ラインの設計段階から設備の一部として組み込めるロボットへのご要望に対応した三軸直交ロボットです。

電子部品や液晶ディスプレイなどの生産工程における、接着剤・シーリング剤などの精密な塗布作業に対して、優れた性能を発揮する「塗布仕様」も発売しています。



※直交ロボット：直交するスライド軸により構成される産業用のロボット

カフェバッグ

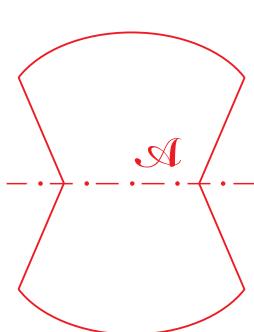
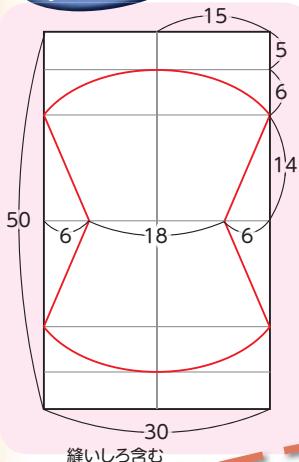
* 材料 * (単位:センチ)

- 表布(麻) 30×50
- 裏布(コットン) 30×50
- 持ち手(革) 80

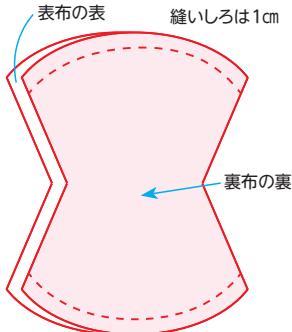


作り方

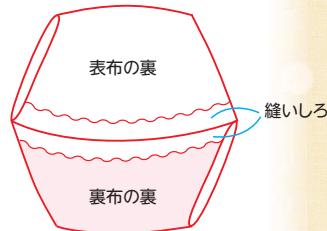
※製作時間のめやす: 刺しゅうなしで30分



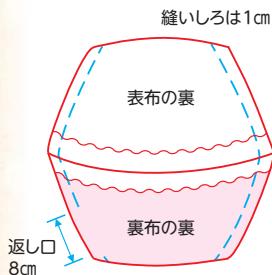
① 表布にタグを付けたり刺しゅうする場合、この段階で入れる



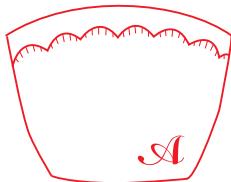
② 表布と裏布を中表に重ねて袋口を直線縫いで縫う



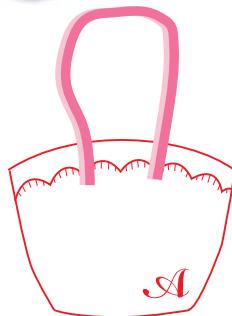
③ ②で縫った縫いしろをアイロンで割って縫った2ヶ所をあわせ中央に置く



④ 片側は、返し口を8cmあけて両脇を縫う



⑤ 返し口から表に返し袋口にステッチをかける



⑥ 持ち手を縫いつけ裏布の返し口をまつり縫いとして完成!

Finish!

★JANOME 手づくり応援!「刺しゅうのひきだし」をオープンいたしました。

これまでメモリーカードでご提供してまいりました刺しゅうデータの中から、厳選したデータをお手元のパソコンから気軽にお買い求めいただけます。ご利用には、会員登録(入会金・年会費無料)が必要です。

ダウンロード方法など、詳細につきましては、サイト内の「ご利用ガイド」をご覧ください。

サイトURL : <http://www5.janome.co.jp/dlshop/>



当社はピンクリボン運動を応援しています

当社ではピンクリボンモデル商品の売上げの一部を、財団法人日本対がん協会の「乳がんをなくす ほほえみ基金」に寄付しています。

ほほえみ基金とは、財団法人日本対がん協会が乳がん征圧のために設けた基金です。ほほえみ基金で集められた寄付金は、主にマンモグラフィや検診機器の整備、医師・放射線技師の育成、患者支援などに役立てられます。

また、ジャノメアメリカにおいても「ピンクリボン運動」を応援しており、ジャノメUK(イギリス)では、がんや難病の子供たちへの支援活動に協力するなど、ジャノメグループでは海外での各種社会福祉活動も応援しています。



●会社概要 (2013年3月31日現在)

商号	蛇の目シン工業株式会社
英訳名	JANOME SEWING MACHINE CO.,LTD.
本社	東京都八王子市狭間町 1463 番地
創業	1921(大正10)年10月
設立	1950(昭和25)年6月
資本金	113億7,300万円
連結従業員数	3,771名

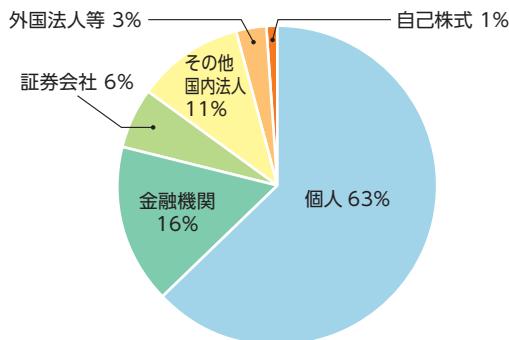
●役員 (2013年6月21日現在)

代表取締役社長	眞壁 八郎	常勤監査役	村山 義晴
代表取締役専務	大場 道夫	常勤監査役	天野 修一
取締役常務執行役員	石水 寛治	監査役	中澤 真二
取締役常務執行役員	河島 正司	監査役	桜井 隆
取締役常務執行役員	喜多村 昌幸	監査役	田中 敬三

●株式の状況 (2013年3月31日現在)

発行済株式総数	195,214,448株
株主数	17,872名(前期末比776名減)

株主構成比率(所有株式数ベース)



● 株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 毎年6月下旬
- 基準日** 毎年3月31日
- 株主名簿管理人
及び特別口座の
口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 同連絡先** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で
行っております。
- 公告の方法** 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により
電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 公告掲載の URL** <http://www.janome.co.jp>

株式のお手続き等についてのご注意

1. 住所変更等、弊社株式に関するお手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座の株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。

蛇の目ミシン工業株式会社

〒193-0941 東京都八王子市狭間町1463番地 TEL. 042 (661) 3071

